

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
知多郡美浜町	みはま奥田	令和2年11月10日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	水田: 79.38 ha 畑: 108.17 ha	187.55 ha
②アンケート調査時に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計		100.11 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計		73.58 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計		35.09 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計		- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計		ha
(備考)	今後、5年度から10年度担い手に担ってもらいたいとアンケート記入者	152 ha
貸借地:	水田: 12.58 ha 畑: 6.70 ha 計: 19.28 ha	設定率(%): 10.3%
作業委託地:	水田: 16.89 ha 畑: 1.93 ha 計: 18.82 ha	
合計	29.47 ha 畑: 8.63 ha 計: 38.1 ha	設定率(%): 20.3%

2 対象地区の課題

<p>水田41ha、畑3ha、計44haを区域とし、認定農業者(担い手農家)6名(集落4名、集落外2名)で17ha程度を実施している。農作業委託として、相対で作業委託を行っている。(事務的に簡略できるから)中心経営体は十分確保されている。(現状)</p> <p>現状、農地中間管理機構に借受けの届出者が14名となっている。その他、利用権設定の受け手が11名となっている。(内70才以上が2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> また、地区内は個別農家も多く、今後、農作業の受委託は、徐々に増加するのではないかと想定する。 担い手農家は、40歳代で2名、60歳台で4名で、更に拡大は可能である状況である。 ほ場整備区域内は、耕作放棄地は見受けられない。 農地の集積が進め中で、畦畔の草刈についての対応は、適宜、その中で営農する農家が実施しているため特に問題はない。 排水路の泥上げ、草刈は、保全会で実施している。現状は、円滑な推進が図られている。(泥の処理に苦慮している) ほ場整備事業で施工された排水路は、I型複断面で落差工周辺で、排水路の畦畔の土砂が吸出しせれているところが見られる。(水路の曲がり部もある)
--

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載ください。

3 対象地区における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> 担い手が地区で確保することができる環境整備が必要である。 土地改良施設の長寿命化をしていくための補修活動は継続的に実施していく。 平井地区においては、槇の木を整理し、畑作を広くやっていただける担い手を入れていく。 すぐにできる課題、長期的な課題を皆が共通で意識をし、解決していく。
